

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	渡辺 恭子	精選古典 B 古文・漢文編 (筑摩書房)
必履修 学校必履修 必修選択 ○自由選択		完全マスター古典文法 (第一学習社) 常用国語便覧 (浜島書店) ほか

◆学習の目標

- ・言語文化に対する関心を深め、国語を尊重し、その理解力・表現力の向上を図る態度を育てる。
- ・古文に親しむことで、ものの見方・感じ方・考え方を広くしていく。
- ・古文を読む能力をより高いレベルで充実させていく。
- ・大学入試に対応する力を養成するために、確実な知識を身に付け、多くの作品に触れる。

◆主な学習内容・方法

- (1) 古語の意味・用法を語源から掘り下げて理解する。
- (2) 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。
- (3) 助動詞や助詞・敬語法の理解を一層深め、表現に即してその持つ意味を正確に理解する。
- (4) 文学史の上でそれぞれの作品の持つ意義を理解する。
- (5) 受験問題を実際に解き、解法を学ぶ。

◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕
- ・古文を理解するための語彙力を充実させること。
 - ・文章の中で助動詞や助詞・敬語法を正確に理解すること。
 - ・文学史の流れを理解すること。
- 〔応用〕
- ・複雑な文章の文脈を正しく把握する力を身に付けること。
 - ・一定の時間の中で大意を理解し、問題に対処する力を身に付けること。

◆評価の方法

- ・定期テスト及び問題演習・質疑応答などから総合的に判断する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1学期 (26時間) 2学期 (28時間) 3学期 (16時間)
------	-------	-------------------------------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・必ず教科書の本文を音読し、分からない箇所については語句を調べ、文法的な構造を考えておくこと。その際、辞書や文法の補助教材を活用し、自分自身の力で分かること・分からないことの区別を付けておくことが大切である。
- ・事前課題への取り組みは必須である。それを前提に授業を進める。
- ・授業で取り上げた文法事項等は補助教材で復習しておくこと。

◆授業計画

各クラスの生徒の実態に合わせ、教材の順序や時数を変更する場合がある。

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	学習到達目標
1	4	『大鏡』 菅原道真 伊周・隆家 道長	1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語の虚構性と表現上の特徴を理解する。 ・それぞれの文章のテーマを理解し、筆者の主張を把握する。 ・文章内に出てくる歌の特徴を知り、特殊な用語を理解する。 	次の項目が理解できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・道長を賛美するという面があるため、道長系には美化が行われている点。 ・物語特有の、ストーリーの展開について。 ・基本語句、助動詞の働き、敬語の基本。 ・和歌が表現の中心にある事を理解する。 ・物語全体の登場人物の行動と心理。
	5				
	6				
	7	『源氏物語』 桐壺 夕顔 若紫 入試問題演習	8 3	<ul style="list-style-type: none"> ・「源氏物語」の全体像を既出部分を踏まえて理解する。 ・特に敬語法を中心に、基本的な文法事項を復習する。 ・歌物語の特徴を多くの章段を読むことで理解し、源氏物語の特徴を理解する。 	
2	8	『源氏物語』 須磨 明石 玉鬘 蛸 野分 御法 東屋 浮舟 夢の浮橋 入試問題演習	2 2 6	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌について修辞法を理解し解釈の仕方を学ぶ。 ・源氏の人間関係を把握する ・文章の複雑な文脈を理解し登場人物の関係・心情等を深く読みとる。 ・第三部の世界の特徴把握 ・入試問題を解くことにより読解力を深め、文法事項を確認する。 	次の項目が理解できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・敬語を手がかりに、主語を判断すること。 ・助詞の働き。 ・どのような心情で和歌が詠まれているのか。 ・情景描写。
	9				
	10				
	11				
	12				
3	1	入試問題演習	1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じて、様々なジャンルの文章に多く触れ、これまで身に付けた力のさらなる充実を目指す。 ・文学史的な流れを理解する 	次の項目が理解できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習の場合 大まかな内容、語句の文法的識別、基本古語の意味。 ・近世の文章による美意識の変遷や享受層の変化に伴う文体の変化。
	2				
	3				